



人権週間に向けて

校内人権週間 12月5日～17日

児童支援専任 神倉 杏奈

今年も残すところあと1か月となりました。寒くはなってきたものの、休み時間や体育の授業では、子どもたちの元気な声と笑顔が校庭に溢れています。そんな子どもたちの姿から、私も元気をもらっています。

さて、今から74年前の昭和23年12月10日、国際連合の総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。本年も、法務省では「『誰か』のことじゃない。」を啓発活動重点目標に掲げ、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」としています。全国各地で人権尊重思想の普及高揚に向けて、様々な活動が行われます。

人はみな、顔も考え方も違います。また、年齢も性別も生まれた国も違います。関わり合う中で、思いやったり折り合いをつけたりする経験を重ねていきます。そうすることが、互いの違いを認め合い、自分のことも人のことも大切にする気持ちを育てていくことにつながっていきます。

本校においても、毎年、人権に関する学習を継続して行っています。いじめや他者との違いをテーマにした本の読み聞かせや動画の視聴などを行います。感想を話し合う活動を通して、いじめや差別をなくすための行動について改めて考えます。また、いじめ防止を推進すべく、11月下旬から12月にかけて全市一斉いじめ防止アンケートを行い、お子さんたち一人一人の思いを尋ねています。

保健室の前には、子どもたちが日々の学校生活で見つけた「ふわふわ言葉」が集められています。

「ナイス!」「ごめんね」「だいじょうぶ」など、友達から優しくしてもらったり、励ましてもらったりしたときの言葉が、カードに表現されています。これからも、温かい言葉がたくさん集まるよう、教職員一同、子どもたちを見守っていきたいと思います。



区長表彰

4年生 土屋 海音さんが社交ダンスで優秀な成績を収め、鶴見区長から表彰状が授与されました。おめでとうございます！朝会で表彰を行いました。

World Open Amateur Dance Championships in Japan

L ソロジュブナイルⅢ 優勝

B ソロジュブナイルⅢ 第3位 他

